

サッカースタジアム検討に係る知事・市長・商工会議所会頭及びサンフレッチェ広島会長による4者の意見交換（1回目）の概要

【1回目の意見交換】

- 1 開催日時 平成28年8月10日（水）14時00分～15時00分
- 2 開催場所 広島商工会議所
- 3 意見交換要旨

- 会頭からは、次のような意見・提案があった。
 - ・ 3者で優位としたみなと公園については、本所が設置している「部会」を通じて意見聴取を行っているが、交通問題に起因する産業への悪影響が懸念されるなど、経済界で意見がまとまっていない状況である。また、観客のアクセス性の問題などから最大の利用者であるサンフレッチェ広島が難色を示している。
 - ・ 旧球場跡地は、市が既に活用方を策定しており、本所においても、概ね市の活用方針に沿った内容の「跡地活用策の基本的な考え方」を常議員会で承認いただいている。
 - ・ どちらの候補地にも難があり、今の状態では前に進めないが、サッカースタジアム建設については、機運が高まっているうちに目処をつけたい。そのため、その他の候補地についても再検討してはどうか。
- 知事からは、これまでの検討協議会での経緯や結果は尊重する必要があるので、検討協議会での議論との整合性が取れるその他の候補地があり得るのか、改めて考えてみたいといった意向が示された。
- 市長からは、旧球場跡地については、既に市が平成27年1月に空間づくりのイメージ図を公表しており、この度のオバマ大統領の歴史的な訪問により、一層その重要度が増しているとの意見があった。その上で、今回の4者の意見交換により、検討協議会において2つの候補地に絞り込みを行ったときから状況が変わっていることが確認できたことから、検討協議会の議論を改めて確認したいとの意向が示された。
- 久保会長は、旧球場跡地がベストとの考えは変わらないとの意見であったが、それぞれで候補地を再検討していくことについては同意した。

4 合意事項

- ① 新たなサッカー専用スタジアムの整備に向け、引き続き努力を行うことについて出席者全員が一致した。
- ② サッカースタジアム検討協議会で候補地が2箇所絞られたが、そこでは県、市、商工会議所、サンフレッチェ広島が納得する結論を出すことは難しいため、今後、その他の候補地の再検討も含めて、県・市・商工会議所とサンフレッチェ広島がそれぞれ検討し、再度、早急に4者の意見交換の場を持ち、その上で方向性を打ち出すこととした。